
悪戯な思春期

片桐

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悪戯な思春期

【Nコード】

N1991BA

【作者名】

片桐

【あらすじ】

私は天草椎名。スターを愛する女子高生だ。適わない恋に思春期を捧げる毎日に、大きな変化が訪れる。人生記録風恋愛小説。因みに私が連載している”栗の変化”に登場する瑠衣とは関係ありません。私が瑠衣という名が好きなのです。

スターの名は瑠衣

格好良いの定義を述べよ。

彫りが深い。声が心地よい低音。
スタイルが良い。スラッとしてる。
金髪だろうが黒髪だろうが似合う。
ピアスが映える顔立ち。
お洒落な服に負けない輝き。

そんな人、いる？

私は探してきた。

否、そういう人だけ見てきた。
どういうことか。

つまり、理想の男性のファンでありつづけたのだ。何人かいる。
八年前から大ヒット曲を生み出してきた”瑠衣”は、長い銀髪を
編み込んだ斬新なルックスの持ち主だ。彼との関係が一番長い。サ
ングラスマニアで1ヶ月は同じものが被ることがない。

当然私はサングラスを買い込むこととなった。彼のライブには七
回行った。関東北部に住む自分にとって、東京ライブは近いもの
なのだ。ギターもピアノもバスも興味は無い。彼だけを愛してる。

勘違いしないでほしい。

私は一般人だ。十七歳の今を生きる女子高生だ。瑠衣と目が合う
ことすら適わない。適わないんだ。CDをいくら集めたところで、
触れられるのは声だけ。悔しいけど、それが現実。

勘違いしないでほしい。

これは、何の変哲もない女子高生が大スターを手に入れる壮大な

ラブストーリーなんかではない。寧ろ目も当てられない小さな私という個人の人生記録だ、と言えよう。

天草椎名。それが私の名前。

中学生の時にパソコンの某動画サイトにて、初めてPVと言われるものに心奪われた一人の少女。

韓流ブームが来ようが、洋楽ロックに入り浸っていた私が、初めて生まれた祖国のスターに恋をした。先に告白しておく、瑠衣は所謂V系だ。銀髪の時点で感じていたとは思っけど。

女性が喜びそうな同性との騒動が多く、友人に堂々と彼のファンだとは言いきつい。ただし、その名声は確かなもので、誰もが彼を画面で見るたび「瑠衣だ」と呟く。一流スターだ。最も、彼は百九十の身長をお持ちだから、否が応でも目立つのも事実。格好良いですよ？

前置きはこの辺にしよう。

瑠衣でも私にでも興味を持った方だけ進んで欲しい。

私は瑠衣を愛してる。

そんな生活が永久に続いて良かった。

願わくば、瑠衣の側にたどり着きたい。

そんな適わない夢を抱く思春期だった。

生活が一変したのは。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1991ba/>

悪戯な思春期

2012年1月5日19時48分発行